

● I K I の社会貢献活動

第 27 回ロボット&プログラム体験教室

港区立芝浦アイランド児童高齢者交流プラザで開催



10月1日（土）、東京都港区の区立芝浦アイランド児童高齢者交流プラザ（通称：あいぷら）で、今年3回目となる当社（I K I）社会貢献イベント「ロボット&プログラム体験教室」を開催。小学4年生から6年生まで、8名の子どもたちがプログラミングに挑戦しました。

今回の会場は、当社本社所在地である港区の児童施設「あいぷら」。この「あいぷら」での開催は通算5回目で、今年も例年通り、あいぷらスタッフの方々にも教室運営にご協力いただき、子どもたちの知っているロボットの話、車型ロボットの組み立て、そしてメインのプログラミング体験からレースへと、スムーズに進行することができました。

さて、当教室のメインテーマであるプログラミング体験では、まず最初に4つの課題でプログラム作りの練習をします。このとき子どもたちは、「モーターを動かして進む／戻る／止める」「時間をはかる」「繰り返す」「光センサーを使う」といった命令を駆使して作った自分たちのプログラムが、実際に車型ロボットを動かすことを目の当たりにします。

これらの練習を終えると、今度は車型ロボットを黒い楕円コースの線に沿って走らせるプログラムに挑戦。コースを周回するためのプログラムにはいろいろな考え方があり、子どもたちはまず、ロボットの動き方、コースをどう周るのか、右回りなのか左回りなのかを考えます。そして次に、どの命令を使ってどのようにコースを辿るのか、どうすればコースに沿って1周できるのかを考えます。

プログラミングに取り組む様子を見ていると、いろいろ作ってみては試す、あるいはじっくり考えてから試すなど取り組み方はさまざま。こうした点も、当教室のおもしろいところです。

そうこうしている間に時間は過ぎ、コースを走らせることができたチームは、1周を指定された秒数にできるだけ近いタイムで走る、という次なるルールに挑戦します。最後のレースのルールがそれだと知ると、子どもたちはより真剣にプログラムを考え、修正しては試すを繰り返していました。



そして最後の周回レース。作ったプログラムで無事一周できるのか、はたまた指定されたタイムにどれだけ近づけられるのか。今回このレースが、子どもたちにとって最もワクワクする瞬間となったようです。ちなみに、今回は全チーム無事完走することができました。

当教室の内容は開始当初から大きく変わっていませんが、ところどころで子どもたち自身が興味を持って考えるようにと、少しずつブラッシュアップしてきました。今後も、多くの子どもたちが真剣に考え、楽しめる機会を提供できるよう当活動を継続してまいります。

<お問合せ>

経営企画室

(電話：03-6400-7010)